

What's new?

ユーザーズマニュアル

WhatsNew.exe Version 1.0 用

Copyright (C) 2001-2004 Fumio KAWAMATA

目次

1. はじめに	1
1.1. What's new?について	1
1.1. 他者に著作権のあるファイル	1
1.2. 再頒布または変更する場合の注意	1
1.3. 連絡先.....	1
1.4. 最新版のダウンロード	2
2. インストール及びアンインストール	2
3. プログラムの実行	2
3.1. 設定ファイル(whatsnew.ini).....	2
3.2. プログラム起動直後の画面	3
3.3. フォント変更後の画面	4
3.4. パラメータの入力	4
3.4.1. Tareget Directory の入力	4
3.4.2. Target Files の入力.....	4
3.4.3. Ignore Subdirectories の入力.....	4
3.4.4. Ignore Files の入力	5
3.4.5. Period の入力	5
3.4.6. Template の入力	5
3.5. 更新のチェック	6
3.6. 出力結果のコピー&ペースト.....	6
4. 更新履歴	6

1. はじめに

1.1. What's new?について

What's new?は、ハードディスク等に保存してある HTML ファイルをスキャンし、最近更新された HTML ファイルの日付やタイトルを一覧表として取得するプログラムです。ホームページの更新履歴を作成するときに役立ちます。

What's new?はプログラムのソースコード(Borland Delphi professional Version 6 用)が添付されたフリーソフトウェアです。継続して無料で使用できます。

What's new?を構成するファイルは、Fumio KAWAMATA に著作権があるファイルと、他者に著作権のあるファイルに分類されます。Fumio KAWAMATA に著作権があるファイルは、Free Software Foundation が公表した GNU 一般公有使用許諾(GPL)バージョン 2 が定める条項に従って再頒布または変更することができます。

1.1. 他者に著作権のあるファイル

- (1) src¥jconvert ディレクトリ内のファイルの著作権は EarthWave Soft(IKEDA Takahiro) に帰属します。
- (2) gpl.txt の著作権は Free Software Foundation に帰属します。

1.2. 再頒布または変更する場合の注意

受け取ったままの状態であれば自由に再頒布できます。Fumio KAWAMATA に著作権のあるファイルについては、GNU GPL バージョン 2 に従って変更・再頒布できます。他者に著作権のあるファイルのみを取り出して変更・再頒布する場合は各著作者に問い合わせてください。

書籍等で紹介したり、書籍の付録 CD-ROM/DVD-ROM 等に収録するのはご自由にどうぞ。 **事前あるいは事後の許諾を得る必要はありません**。連絡するのが礼儀と思われるかも知れませんが、お気遣いは無用です。見本誌はいただきません。

1.3. 連絡先

What's new?あるいはこの文書についての問い合わせは下記までお願いします。

fumio@my.email.ne.jp

ただし、以下のメールは配送されません(メールサーバから自動的に削除されます)。

- (1) hotmail.com、yahoo.co.jp、freemail.ne.jp に代表される、匿名性の高いフリーメールアドレスからのメール。
- (2) HTML メールや、Content-Type:行に multipart を含むメール。Windows 付属の Outlook あるいは Outlook Express をお使いの方は、自分で気づかずに HTML メールを送信している場合がありますのでご注意ください。
- (3) 常識的に考えて大きいサイズのメール(Virus が添付されたメール等)。
- (4) 送信日付を故意にずらしてあると思われるメール。

1.4. 最新版のダウンロード

What's new?の最新版は以下のページからダウンロードしていただけます。

<http://openlab.jp/fumio/>

2. インストール及びアンインストール

What's new?は、文字列"wnew"に続けて、メジャーバージョン番号、ハイフン、マイナーバージョン番号、そして文字列".zip"を組合せたファイル名で配布されます。例えば、バージョン 1.2 であれば、"wnew1-2.zip"というファイル名で配布されます。Zip 形式ファイルを展開するプログラムにより、配布ファイルを任意のディレクトリに展開してください。これでインストールは終わりです。スタートメニューへの登録は手作業で行ってください。

アンインストールする場合は、展開したファイルと、後述する設定ファイルを削除してください。What's new?は専用のアンインストーラを持ちませんので、手動で削除してください。

3. プログラムの実行

3.1. 設定ファイル(whatsnew.ini)

プログラムを実行するには、whatsnew.exe をダブルクリックしてください。初めて whatsnew.exe を実行した時には、図 1に示すようなダイアログが表示されます。whatsnew.exe は、環境変数 HOME が存在する場合は環境変数 HOME の値が指定する場所に、環境変数 HOME が存在しない場合は whatsnew.exe が存在するディレクトリ内に whatsnew.ini ファイルを作成します。筆者は環境変数 HOME の値を C:¥HOME に設定しているため、図 1に示すとおり、C:¥HOME の下に whatsnew.ini ファイルが作成されます。

プログラムのアンインストールの説明の際、「後述する設定ファイルを削除してください。」と記述しましたが、設定ファイルとは、この whatsnew.ini ファイルのことです。

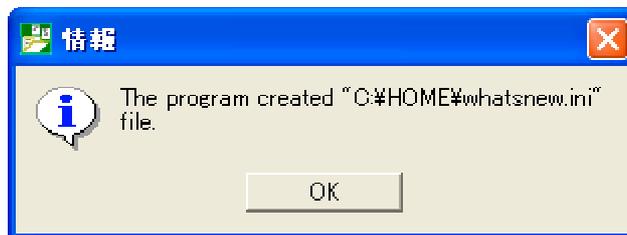


図1 INI ファイル作成時ダイアログ

3.2. プログラム起動直後の画面

whatsnew.exe を実行すると、図 2に示すような画面が表示されます。図 2は、日本語版 Windows XP Professional で、whatsnew.exe Version 1.0.0.16 を表示した画面です。

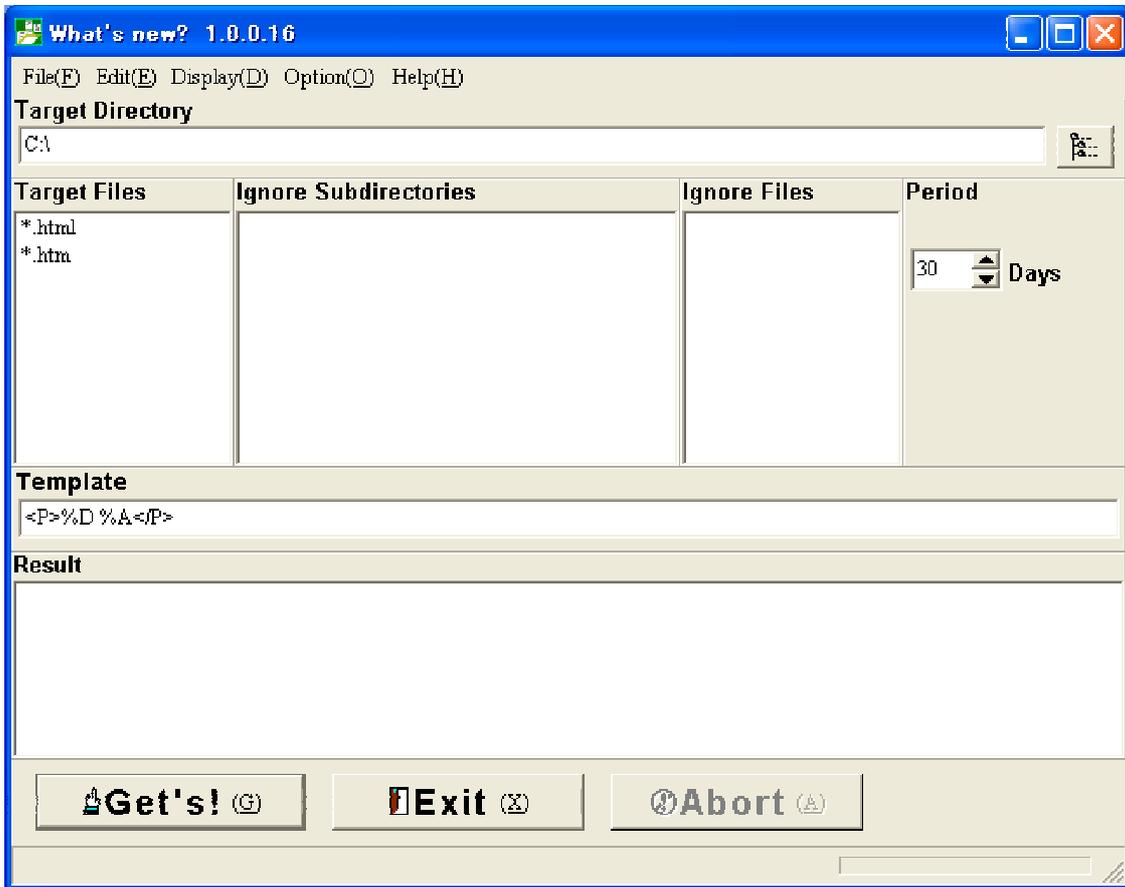


図2 起動時の画面

起動時はエディットボックス内のフォントが Times New Roman になっていますので、日本語フォントに変更してください。(注意: 変更できるのはエディットボックス内のフォントだけです。エディットボックスの上部の文字や、ボタン上の文字は変更できません)。エディットボックス内のフォントを日本語フォントに変更するには、まず、[Edit|Font]メニューを選択します。[Edit|Font]メニューを選択すると、フォントダイアログが表示されますので、お使いになりたいフォントを選択してください。

3.3. フォント変更後の画面

フォントを MS ゴシックに変更した後の画面を図 3 に示します。

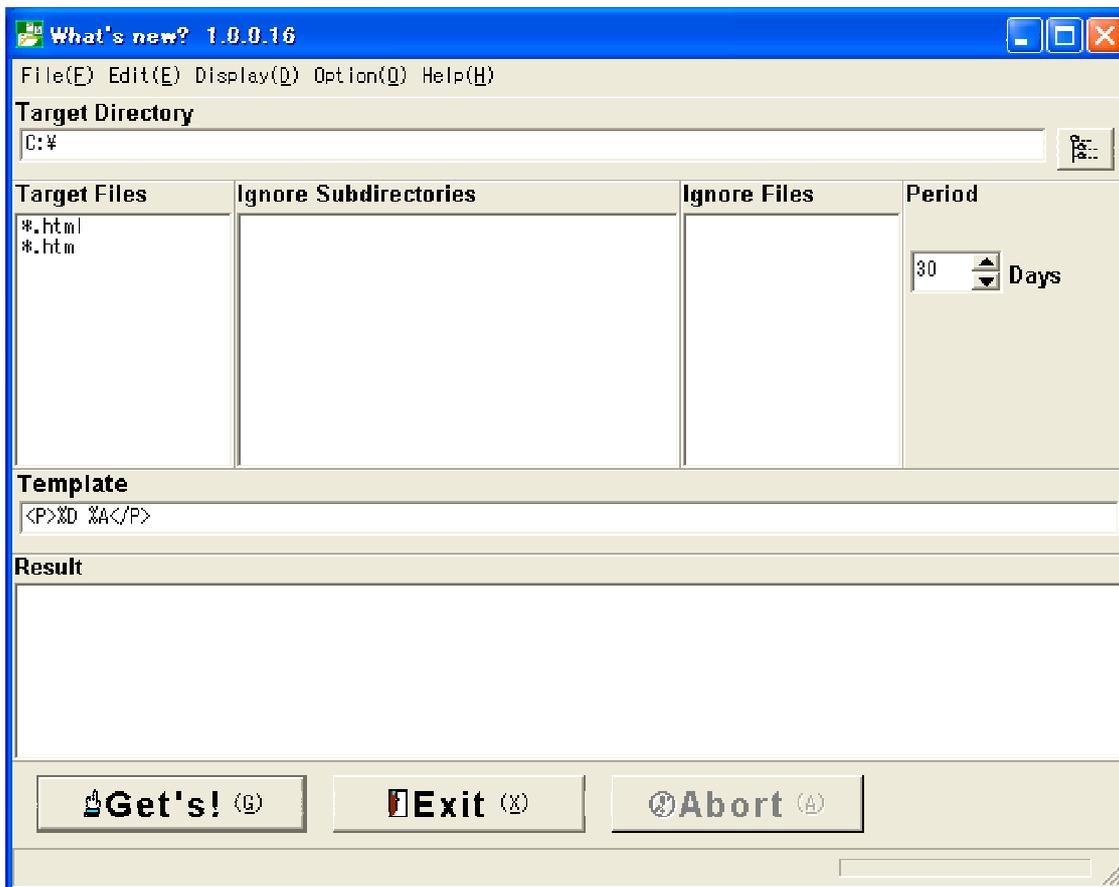


図3 フォント変更後の画面

3.4. パラメータの入力

3.4.1. Target Directory の入力

「Target Directory」には、更新状況をチェックしたい(HTML ファイルが保存されている)ディレクトリを入力します。テキストボックスの右側にあるディレクトリツリーアイコンをクリックすると、「フォルダの参照」ダイアログが表示されますので、このダイアログからディレクトリを選択することもできます。

3.4.2. Target Files の入力

「Target Files」には、HTML ファイルのファイル名を指定します。通常はデフォルトのまま、*.html と *.htm を指定します。

3.4.3. Ignore Subdirectories の入力

「Ignore Subdirectories」には、Target Directory で指定したディレクトリのうち、チェック対象外としたいディレクトリを Target Directory に対する相対パスで指定します。たとえば、Target Directory が C:¥WWW で、チェック対象外にしたいディレクトリが C:¥WWW¥SECRET の場合は、Ignore Directory に SECRET を指定します。

3.4.4. Ignore Files の入力

「Ignore Files」には、チェック対象外としたいファイル名を指定します。

3.4.5. Period の入力

「Perion」には、最近何日以内に更新されたファイルをリストアップ対象とするかを数値で指定します。デフォルトでは 30 になっています。

3.4.6. Template の入力

「Template」には、リストアップ対象の情報をどのように表示するかを指定します。例えば、更新日付と HTML ファイルのタイトル(<TITLE>と</TITLE>で囲まれた文字列)を 1 行に 1 ファイルずつ表示するには、

```
<P>%D %t</P>
```

あるいは、

```
<p>%D %t</p>
```

と指定します。なお、表示順序は常に更新日付の逆順になります。

ホットスポットを設定し、リストアップした HTML ファイルのタイトルをクリックしたときに該当 HTML ファイルを表示できるようにするには、

```
<P>%D %A</P>
```

あるいは、

```
<p>%D %a</p>
```

と指定します。%A と%a の違いは、HTML ファイルのソースコードを大文字で展開するか、小文字で展開するかの違いです。<P>%D %A</P>と指定した場合は、

```
<P>2004/05/01 <A HREF="index.html"> のホームページです</A></P>
```

のようになります。一方、<p>%D %a</p>と指定した場合は、

```
<p>2004/05/01 <a href="index.html"> のホームページです</a></p>
```

のようになります。%A と%a のどちらを指定するかは、HTML ファイルのソースコードの他の部分と整合をとるようにしてください。タグを大文字に統一しているなら%A を、小文字に統一しているなら%a を指定してください。

日付のほかに時刻も表示する場合は、

```
<P>%D %T %A</P>
```

のように指定します。%T を指定すると、HTML ファイルの時刻を展開します。

HTML ファイルの相対パスを表示する場合は、

```
<P>%D %P %A</P>
```

のように指定します。%P が HTML ファイルの相対パスを展開します。

リストアップ対象を箇条書きで表示するには、

```
<LI>%D %A</LI>
```

のように指定します。とは自分で追加するか、もともと存在するとの中身だけ入れ替えるようにしてください。

テンプレート内で使用できる展開用文字列とその意味を特別な意味を持つ文字列を表 1 に示します。

表1 展開用文字列とその意味

文字列	意味
%D	HTML ファイルのタイムスタンプから得られる日付に展開します。形式は、YYYY/MM/DD です。例えば、2004 年 5 月 1 日の場合は 2004/05/01 となります。
%T	HTML ファイルのタイムスタンプから得られる時刻に展開します。形式は、HH:MM:SS です。例えば、12 時 58 分 00 秒の場合は 12:58:00 となります。
%P	リストアップ対象となる HTML ファイルの、Base Directory に対する相対パスに展開します。
%t	HTML ファイルのタイトル(<TITLE>と</TITLE>で囲まれた文字列)に展開します。
%A	HTML ファイルへのホットスポットに展開します。 <P>2004/05/01 のホームページです</P> のようにソースコードは大文字になります。
%a	%A 同様、HTML ファイルへのホットスポットに展開します。ただし、 <p>2004/05/01 のホームページです</p> のようにソースコードは小文字になります。

3.5. 更新のチェック

パラメータを指定したら、「Get's!」ボタンをクリックしてください。結果は「Result」エディットボックスに出力されます。

3.6. 出力結果のコピー&ペースト

出力結果は、[Edit|Copy To Clipboard]メニューを選択することでクリップボードにコピーされますので、エディタにペーストしてください。

4. 更新履歴

- 2004 年 5 月 27 日 Version 1.0 公開。
- 2001 年 プログラム作成開始。当時、LINUX にも興味があったので、Borland Delphi と Borland Kylix によるクロスプラットフォーム環境でコンパイルして実行形式ファイルを作成できるようにした。